

報道関係各位



2020年7月14日

**全国の小学生たちよ集まれ！アイデアを形に！デジタルなモノづくりに挑戦！
プログラミングが学べるダンボールロボット「embot(エムボット)」
「embot アイデアコンテスト2020」を開催**

2020年8月1日(土)から応募開始

株式会社タカトミー
embot アイデアコンテスト2020実行委員会

株式会社タカトミー（代表取締役社長：小島一洋／所在地：東京都葛飾区）は、embot アイデアコンテスト 2020 実行委員会と共同で、全国の小学生を対象にダンボールで作るプログラミング教育ロボット「embot (エムボット)」を活用したアイデアを募集する、唯一の公式プログラミングコンテスト「embot アイデアコンテスト2020」(以下、本コンテスト)を開催いたします。本コンテストは、今年で二回目の開催となり、タカトミーは本年度より参画します。

初開催の2019年度は全国各地の応募作品の中から16作品が選出され、最終選考会を経て受賞作品が表彰されました。(※1) 本年度は、特設サイト (embot-contest.com) にて、2020年8月1日(土)から9月30日(水)まで、作品を募集いたします。



これまで全国のご家庭やワークショップ/イベント等で、数多くの小学生に embot を利用・体験していただきました。子どもたちの豊かな想像力と embot の創造力の融合により、様々な工作やプログラミングから素晴らしい作品が生まれる瞬間を目の当たりにしてきました。2020年、プログラミング教育が必修化される新時代の小学生たちに、アイデアを形にし、プログラミングスキルを活用した「デジタルなモノづくり」に挑戦するための目標や成果発表の場を提供することで、次の学びのステップへつなげてもらいたいと考え、コンテストの開催を決定しました。本年度もまた新たなアイデアと挑戦溢れるコンテストになることを期待します。

◆「embot アイデアコンテスト2020」概要◆

■名称：「embot アイデアコンテスト2020」(embot-contest.com)

<募集内容>

タカラトミーから発売している「embot (エムボット)」に同梱されているコア、パーツ(サーボ2個、LEDライト赤1・緑1、スピーカー)を使って自由に制作した作品を募集。

※embot 公式のクマ型に限らず、好きな造形を制作可能。

※他コンテストへの重複応募可能

■応募資格：小学1～6年生(グループ応募なし)

■エントリー費用：無料(応募時および選考段階でかかる費用はすべて自己負担)

<応募形式>

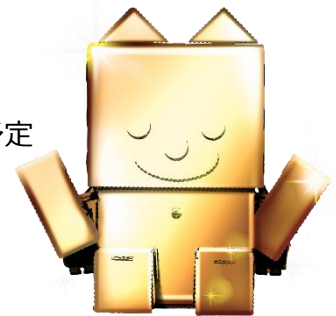
作品と作品を動かすプログラムを制作。

作品や制作した意図や想い、工夫したポイントなどを説明していただくプレゼンテーション動画(5分以内)を撮影いただきます。プレゼンテーション動画の撮影が完了した後、embot アプリからプログラムと動画ファイルを送信いただくことで応募が完了します。

(詳細は特設サイトをご確認ください。)

■審査員

コンテスト実行委員会や、embot 開発チーム、各界で活躍する有識者を予定
(※詳細は特設サイトにて順次公開予定)



<各賞について>

・最優秀賞・・・1名 副賞：「世界に一つだけの金ピカ embot」

・タカラトミー賞・・・1名 副賞：タカラトミー玩具 1万5000円分(ご希望の商品をお届けします)

・インフォディオ賞・・・1名 副賞：iPad Pro 最新モデル

・審査員特別賞・・・1名

■主催：embot アイデアコンテスト2020 実行委員会

■コンテスト応募に関するお問い合わせ先：idea-contest2020@e-craft.jp

◆プログラミング教育サービス「embot」の概要◆

「embot」は、ダンボールを用いたロボットを自由に組み立てることで電子工作やものづくりの基礎を学ぶとともに、そのロボットをタブレットやスマートフォン上でのビジュアル・プログラミング（※2）を通じて子供でも簡単に操作することができるプログラミング教育サービスです。

文部科学省は2020年に小学校のプログラミング教育を必修化することを発表しました。また一方では、将来的な日本のIT人材の不足が懸念されている中、様々な教材が提供され始めていますが、実際にITの最前線で活躍出来る人材育成につながる実践的なプログラマー視点で開発された教材はまだ少なく、また高価なものも多いため、広く普及するには至っていないのが現状です。

embotは、プログラミングを自由に扱える人材をもっと増やしていくことで、個人が便利な生活を自ら作り出していくことができる世界を実現することを目指し、様々な教育現場にICT環境を整備していくとともに、実践的でありながら誰でも手軽に楽しく学べるスターターキットを目指し、ドコモの新規事業創出プログラムである「39 works（※3）」にて、ドコモのプログラマーチームを中心に「embot」の事業開発を実施しました。

タカラトミーは「e-Craftシリーズ embot」の商品の製造、玩具流通での販売を行い、株式会社インフォディオ（代表取締役 CEO：勝本伸弘／所在地：東京都文京区／以下、インフォディオ）が、ビジュアルプログラミングを提供するembot公式アプリの開発・提供・運営を担当しております。本コンテストはタカラトミー、インフォディオ、一般社団法人GPリーグ（代表理事：武藤 裕介／所在地：千葉県流山市／以下、GPリーグ）の3社による実行委員会によって主催され、プログラミング教育のさらなる普及促進と発展を目指すものです。

◆embot アイデアコンテスト実行委員会の参画企業について◆

■タカラトミー

今年96周年を迎える総合玩具メーカーで、「すべての夢の実現のために、新しい遊びの価値を創造する」という企業理念のもと、「トミカ」「プラレール」「リカちゃん」などをはじめとする、様々な人気ブランド・商品を展開しています。2019年11月より「e-Craftシリーズ embot」の商品の製造、玩具流通での販売を行い、一般消費者向けの販売だけでなく、本社を構える葛飾区と連携し、2020年から必修化するプログラミング教育に向けて各小学校へ提供するなど多方面に展開しています。

■インフォディオ

インフォディオは、東証マザーズ上場企業である株式会社アイリックコーポレーションの100%子会社で、2002年の設立以降、「革新的な製品・サービスを創造し、社会に貢献する」をミッションに、多数のソフトウェア・アプリケーションの開発を行ってきたITサービス企業です。「e-Craftシリーズ embot」においては、ビジュアルプログラミングを提供するembot公式アプリの開発・提供・運営を始めとして、ソフトウェア・アプリ開発全般を担っています。

■ GP リーグ

GP リーグは、小学生がプログラミングなどのスキルを競い合う「プログラミングバトル」イベントの実施やワークショップを通じて、子どもたちが自ら情報を整理し、自分の頭で考える力を身につけることで、今後訪れる超高度情報化社会の課題を解決し、みんなが幸せに暮らせる、より良い社会の実現を目指す一般社団法人です。そのために必要となる大事な力「Computational Thinking」を、子ども達の自由な興味・関心や能力に合わせて、「未来の学び」として実現していくフィールドを提供する一環として、本コンテストの企画・運営全般を担当しています。

< embot 企画開発 >

・株式会社 NTT ドコモ（本社：東京都千代田区）

タカラトミーモールでは、embot を販売しております。

▼タカラトミーモール URL

takaratomy mall.jp

▼embot 公式サイトURL

www.embot.jp

▼embot 販売サイトURL

takaratomy mall.jp/shop/g/g4904810156963/

※1 2019年度のコンテストの様子はこちら

embot-contest.com/2019/report/index.html

※2 ビジュアルプログラミングとは、プログラミングを絵や図形を組み合わせて作成する方法です。

※3 「39works」は、パートナー企業と協創し、企画から開発、運用・保守までを一体で進めながら、高速PDCAにより改善を繰り返し、新ビジネスを創出し、育むプログラムです。

(39works ホームページ：www.39works.net/)

<報道各位から本件に関するお問い合わせ先>

◆embot、コンテストに関するお問い合わせ先

株式会社タカラトミー 広報課 TEL:03-5654-1280 FAX:03-5654-1380

◆コンテスト応募に関するお問い合わせ先

embot アイデアコンテスト2020実行委員会 idea-contest2020@e-craft.jp

<読者から商品(embot)に関するお問い合わせ先>

株式会社タカラトミー お客様相談室 TEL:0570-041031(ナビダイヤル)